

# INAKEN PRESS

## 稲津けんご通信

発行元: 稲津けんご後援会 代表: 稲津けんご

〒183-0041 東京都府中市北山町2-26-15

☎: (042)806-9777 Mail: inazu.kengo@gmail.com

URL: www.inaken.gr.jp



## 曲げない、負けない、あきらめない 2015年1月号

### 得票率は野党が与党を上回る

2015年の幕開けで新たな一年が始まりました。昨年末の衆議院選挙では第3次安倍内閣が発足しましたが、その内容は必ずしも結果と連動していない事が浮き出ました。選挙結果の動きとしては自民党が4議席減らし、民主党が10議席、共産党が13議席伸ばす結果となりました。また、与野党の得票率に注目すると、自民公明の与党が約46~49%、民主や維新、共産など野党が50~53%となりましたが、小選挙区制度によるマジックで与党が475議席のうち326議席を占めました。相対的には自民党独走に懸念する有権者の声が大きいたことが判明しました。今年4月に控える地方統一選挙にどのような影響を与えるか注目されます。

### 府中市議会議員選挙の争点

こうした国政の結果と世論の動きを踏まえて、今年4月19日から始まる府中市議会議員選挙は、様々な争点が見込まれます。中でも重要なのは府中市役所の庁舎建て替え問題をはじめとする、市の公共施設の維持管理費用問題。府中市は他市に比べて財政が良いと云われてきましたが、これまでに建てられた公共施設の数が多く、それらを管理維持するコストが市財政に大きく影響してきます。府中市は「公共施設管理マネジメント」を導入し計画的に取り組んでいますが、変化のある市民ニーズや毎年の財政状況も念頭に置かなければなりません。そうした総合的な判断も市議会議員選挙で議論になるでしょう。今後は単に要望を訴える政治から脱皮し、政策判断の説明責任を果たせる人材を市民が選ぶ選挙になります。

### 稲津けんご氏、抱負を語る

市議会議員選挙は、私たちが一番身近な生活に密着した自治体のルールや施策を議論し、より住民のニーズに適したまちづくりをすすめる候補者を選ぶ大切な機会です。そのためには、地域の課題をしっかりと認識し、その解決に向けた能力と経験を持ち合わせ、住民に伝えることのできる人材が必要とされるでしょう。

今年4月の選挙に向けて稲津けんご氏は「これまで3期12年間市議会議員として全力投球してきました。その後、親の介護をしながら一市民として民間で働き、地域活動、市民活動をしてきました。そうした経験を今後の府中市議会活動の中で活かし、地元へ恩返したい。」と述べました。さらに「市議会での議論とその結果をしっかりと住民に伝えることは勿論、タウンミーティングや地域での対話を通じて住民の声をしっかりと政策化し、実現に向けて納得できるよう全力投球で取り組みます」と市議選に向けた抱負を語りました。

# 市民一人ひとりが安心して暮らすための**政策**を発表

稲津けんごはこの3年間、一市民として民間で働きながら、親の介護、地域活動、市民活動などをしてきました。それらの経験が今後の府中市政に活かされるためには、福祉と健康、災害対策、子育て支援など「ヒト」への投資と支援が必要と稲津氏は訴えています。

それらの政策について、稲津氏は具体的な案を公表しました。いずれも今の府中市政において、大変重要な課題であり、その対策に取り組む姿勢を明らかにしています。詳細は稲津けんごホームページでも掲載していますが、その概要をお知らせいたします。

## 福祉・健康

### 市民に健康が行き届く府中市に

稲津けんご氏は、自身の親の介護を通じて、終末期の家族の寄り添いや医療や介護サービスなど、当事者のニーズに対応した施策を推し進めることを発表しました。また、NPO 法人で緊急支援担当として岩手県釜石市で被災地支援活動を行い、現地での「お茶っこ会」などのイベントを通じて健康問題や仮設住宅に住む方々の心の復興にも取り組んできました。府中市においても、そうした活動に取り組む民間団体との連携やその活動に伴う経済的支援をしていくよう、稲津氏が政策の一環として提言していきます。



### 訪問診療や終末期ケアの充実

高齢による健康問題を抱える当事者やご家族にとって、在宅でも対応できる訪問診療や最期まで看取るまでの支援が必要です。



### 市内飲食店の禁煙化

たばこによる健康への影響は明らかにされています。神奈川県をはじめ、都内自治体でも実施されている禁煙化を府中市でも取り組んでまいります。

### 福祉施設の充実

府中市では特養ホームなど高齢者施設へ入所を希望する待機者が多く、なかなかニーズに対応しきれっていません。待機者とそのご家族の負担を軽減するためにも、福祉施設を増設します。

### 健康に向けた行政と民間の連携

民間団体では高齢者への直接訪問活動やイベントなどを通じて健康に対する様々な取り組みが行われています。そうした活動の情報を共有しながら、一人ひとりの身体とこころの支援を推進します。

## 稲津けんご プロフィール



1968年 府中市北山町生まれ、  
 1981年 府中第七小学校卒業  
 1984年 私立和光中学校卒業、  
 1987年 都立狛江高等学校卒業  
 1992年 米国南アラバマ大学 学士号取得  
 1998年 米国ピッツバーグ大学修士号取得

1999年 府中市議会議員 初当選  
 以来3期12年任期満了  
 2012年 一橋大学大学院研究補助員  
 2013年 NPO法人 緊急支援担当  
 2014年 稲津けんご事務所 開設  
 市民生活相談活動に取り組む